

1月23日、数日前の雪がまだ残る福住町の、三甲（株）関西第3工場・第1期工事の竣工式に招いていただきました。

同社は創業以来、物流産業機器の開発に特化した事業を展開、たとえばプラスチックパレットは日本で初めて製品化されたもの。9月の1棟目に続き、今回竣工したパレット用工場では、間もなくフォークリフトで、重く、大量の荷物を運搬できるプラスチックパレットの製造が始まります。

後藤社長、荒井知事ほかの方々との懇談で、日本の物流産業の一端を、かい間見ることが出来たことを実感しつつ帰途につきました。



▲第一期工事を終えた三甲(株)関西第3工場

◎新年度予算編成、正念場に

昨年秋から新年度予算の編成作業に入っています。

就任以来「入るを量りて出ずるを制す」を座右の銘に行財政運営にあたっていますが、先日、財政担当から作業の中間報告を受けました。

そのうち一般会計予算では、24年度と比べて歳入では市税収入等が減収となる見込みです。歳出では、年々増える障害者福祉サービスや予防接種経費の増、道路整備、都市計画街路事業、クリーンセンター設備の修繕などもあり、全体として歳入見込みよりも歳出がかなり上回っています。

年々すすむ少子高齢化の中で私たちの天理市でも、まずは目の前の課題を精査する一方、着手しなければならぬ分野にも精一杯の努力を重ねていきます。

◎奈良交通(株)の赤字路線バス、来年9月に結論

県の中南部を走る奈良交通の路線バス56路線のうち、25路線について、同社から奈良県地域交通改善協議会に、この地域のバスネットワーク確保についての提案(要請)を受けています。

内容は慢性的な赤字が続くこれらの路線について、来年10月以降の廃止・減便、いいか

えると収益が見込めない路線から撤退したいというものです。

天理市でも天理都祁線(国道針、苜原の2系統)と天理桜井線が該当し、県・市からの補助もあって辛うじて運行されているのが実状です。

24年5月から計3回にわたり奈良交通(株)と約30市町村が協議を重ねていますが、2月20日に県と市町村がこの問題についてあらためて論議を重ねることにしています。

こうした中で、天理市にも1月25日に奈良交通・谷口社長が来庁され、

1. 公共交通機関として安全・安心・確実な輸送サービスの提供と引き続き経費節減に努める。
2. 平成26年9月末までは現状維持したい。
3. 国庫補助路線の要件(輸送量15人以上)を満たさないことが予想される路線については、沿線市町村には運送収入引き上げ措置の支援を要請させていただきたい。

という要請を受けています。

利用者の減少する中で同社の窮状を理解しつつも、これも頭の痛い課題です。

慢性腎臓病(CKD)という病気をご存じですか。CKDは今や国民(20歳以上の成人)の8人に1人いると考えられる病気です。しかし残念なことに、自分がCKDであることをご存じでない人も多くおられます。なぜでしょうか。それは、CKDはかなり進行するまでは、初期にはほとんど自覚症状がないからです。

では、どうすれば自分がCKDであるのかが分かるのでしょうか。CKDの診断には尿検査と血液検査が必要です。尿検査で尿にタンパクや血がもれていないか調べます。また、血液検査で血清クレアチ

100.

いきいき家族の
健康カルテ

あなたの腎臓は
大丈夫ですか？

【奈良県医師会】

ニンを測定し、推定糸球体濾過量(eGFR)を計算します。このeGFRが皆さんの腎臓の働きの指標です。eGFRは概ね100が正常値です。eGFRが10を下回るようになると透析などの準備が必要です。

CKDは放置するとゆっくり進行し、特にeGFRが50を下回ると腎機能が加速度的に低下します。それだけではありません。CKDになると心血管病(心筋梗塞や脳卒中など)になりやすくなります。つまり、CKDになつてい

る人は、より嚴重な血圧・血糖・コレステロールの管理が必要

です。

また、CKDは早期発見が重要です。定期的に検査を行い、早期に適切な治療を受けることをおすすめします。CKDの進行を食い止められる可能性はあるからです。

CKDは尿検査や血液検査をしないと診断できません。県では、加入されている健康保険により、特定健診で尿検査の結果とeGFRが分かるようになって

います。ぜひ健診を受けて、CKDを早期に発見し、健康な状態を維持しましょう。